

組合員の活動と学習

シャゲ ころやま コープの森・社家郷山

森の恵みとくらしや食べ物とのつながりを伝える学習をすすめています

コープの森・社家郷山(西宮市)では、マイバッグ運動をとおして集まったレジ袋代金を活用し、「落葉高木林を中心とした多様な生き物を育む豊かな森」をめざし、森の整備を行うとともに、そのことがくらしにどのように関わっているのかについて学習をすすめています。2010年度から新たに組合員親子で参加してもらう5回シリーズのプログラムをスタートしました。

このプログラムには、組合員親子18組44人が登録し、社家郷山と、この山から水や落ち葉たい肥などの恵みをもたらしている近隣の農地をフィールドに、里山がくらしの中に根づいていた頃を疑似体験しながら、生態系の循環、人と自然のつながりについて学びました。

一方、組合員と職員のボランティア養成も引き続き行い、現在75人が登録しています。月に1~2回の定例活動では、担当エリアの整備とその効果検証をしたり、学習イベントの運営補助をお願いしています。

また、職員教育プログラム「地域・組合員活動参加」のメニューのひとつに「社家郷山での森林保全活動」が設けられ、受講者が子どもたちに里山保全の意義を伝える学習素材「たんけんブック」を作成しました。2011年度からは、社家郷山のボランティア活動に参加すると、職員のキャリアアッププログラムのポイントが付与される制度がスタートし、組織をあげて活動をバックアップする体制も整いつつあります。

5回シリーズプログラムの内容

回	日程	内容
1	5月16日	落ち葉たい肥見学、田植え、夏野菜とさつまいも植付け
2	6月12日	森の探検、除伐体験、薪割り、火起こし・野外調理(農地の野菜でカレーライス)
3	7月19日	夏野菜収穫、畑・田んぼの手入れ(草抜き)
4	9月20日	稲刈り、はぜ掛け、脱穀、さつまいも収穫、ペットボトル苗づくり
5	11月28日	薪割り、火起こし・野外調理(収穫米・野菜でごはんとお汁)、稲わらでしめ縄づくり



近隣農地での田植え



職員研修プログラムで作成した「たんけんブック」



薪で火起こしをして野外調理



足ふみ脱穀



明るい森にするための除伐を体験

環境共生型農園エコファーム

コープスフードプランの魅力、食べものをつくる大切さを感じる機会を提供しています

エコファームでは、10周年に向けて、地域で組合員活動をすすめるコープ委員のみなさんに、収穫の楽しさや取れたて野菜のおいしさを体験してもらいながら、同時にフードプランや農業について一歩踏み込んで学んでもらえるように視察学習をすすめています。2010年度は、22地域393人のコープ委員がこのプログラムを利用しました。

2011年度は、食、子育て、環境などをテーマに活動をすすめるくらぶ・サークル*の組合員対象のプログラム「まるごと体験エコファーム」も用意し、農業や食の視点を盛り込んだ活動展開につなげてもらいたいと考えています。

なお、これらの取り組みは、マイバッグ運動をとおして集まったレジ袋代金を活用してすすめています。

*地域の中で、自主・自発の活動をすすめる組合員グループ。



「まるごと体験エコファーム」で循環のしくみや農作業のくふうを親子で学習

公益信託コープこうべ環境基金

設立から20周年。よりよい活動をめざし、助成団体どうしが交流しました

「コープこうべ環境基金」は兵庫県内の自然環境の保存と適正な活用をすすめるための実践活動および啓発活動に取り組む団体を助成することを通じ、よりよい自然環境の保全に寄与することを目的としています。マイバッグ運動でいただいたレジ袋代金をはじめ、組合員や取引先からの寄付を積み立てた基金から、これまでの20年間に、のべ441件、総額約5,772万円の助成を行ってきました。

生物多様性保全といった新たな課題もクローズアップされており、これに対応するため、2010年度から「実践活動」への助成に加え、「自然環境保全に向けた実証的調査・研究」を支援する枠組みを新たに設けています。

設立20周年を迎える2011年には、「自然との共生にむけ、いま地域でできること」をテーマに、6月26日にコープこうべ生活文化センターで「つどい」を開催。2010年度に助成を行った団体のパネル展示も行いました。つどいには、助成団体のメンバーを中心に約60名が参加し、相互交流をとおして、よりよい活動のためのヒントを得ていただく機会となりました。



活動パネル展示



活動団体の交流

虹っ子エコ&フードチャレンジ

家や店など身近なところで、「食」と「環境」について親子で楽しく学べる参加型プログラムとして、毎年「エコ&フードチャレンジ」シートを作成し、学校、組合員活動やイベントなどで活用しています。

2010年度は、食べ物選びと調理場面を通じたエコをコンセプトに、春・夏号ではグリーンカーテンと旬、秋・冬号はエコ料理とフードマイレージを取り上げ、合わせて約3,000人が参加しました。



「エコ&フードチャレンジ」シート